

日野小学校だより

令和4年度
須坂市立
日野小学校
R4.11.29 No.8

11月 なかよし月間 の取組から

11月は「なかよし月間」でした。この月間では、以下の3点を大切に取組んできました。

○一人ひとりが自分の良さに気づき自分を好きになるとともに、互いの良さを認め合いながら、支え合う集団をつくるために大切にすること。

○なかよし学級との交流を深め、自他共に大切にし、共に生きる心と実践力を育てること。

○身近な社会の中にある人権・差別の問題を正しく認識し、部落差別を始めあらゆる差別を許さない実践力を育てること。

校長先生のお話（11月16日）

「あっていいちがい。あってはいけないちがい」について考えよう

今月から「なかよし月間」です。今日は、車いすを使っている人のお話をしたいと思います。コンビニとかスーパーで車いすに乗った人を見かけたことはありませんか？ 今年の5月、隣の長野市で起きたことです。お店の中は狭いですよね。コンビニの店員さんはこのお客さんに対して何て言ったでしょう？



車いすの人はいろいろ考えました。もし、みんなのお友だちがこんなこと言われたら、その友だちにどんな言葉をかけますか？ きっと、やさしい言葉、思いやりのある言葉をかけてくれるのでしょね。

ちょっと話題を変えます。長野駅から電車に乗って日野公民館に用事がある人が来て降りました。しかし、階段があって降りられません。お手伝いをしてくれる人もいません。どうしようかと困っています。しかたなく、もう一度電車に乗り、須坂駅まで行きました。須坂駅にはエレベーターがあるので、エレベーターに乗って下まで来て、タクシーに乗って日野公民館まで行くことができました。車いすを利用しない人は日野駅で降りることができます。車いすを利用している人は降りることができずに須坂駅まで行って、更にタクシーに乗らなければなりません。これってあっていい違いですか？あってはいけない違いですか？

日野小学校に来た人はどうでしょうか？困ることはないかな？

児童との個別懇談「こころの日」の実施

6月と11月に「いじめアンケート」を行っています。これは須坂市のすべての小中学校で行われるものです。アンケートをもとに、一人ひとりの児童と話す「こころの日」を設け、短時間ではありますが毎日の生活で困っていることや心配なことはないかを確かめる時間をとりました。



人権同和教育に関わる「なかよしの木」づくりと掲示



各学級で、「友だちの頑張っているところ」「友だちのすてきなところ」「友だちからしてもらって嬉しかったこと」をお互いに交換し合う「なかよしの木」を書き合いました。

参観日にもご覧いただけたと思います。

なかよし集会 11月9日（水）朝の活動の時間（8：25～8：40）

児童会の主催で、みんなが仲良くなるための集会を開催しました。

今回は校庭を使った「おにごっこ」でした。



賞状授与の日 11月25日（金）

学校内外で取り組んでいる活動への成果をたたえる時間をとりました。

（3学期も行いますので、お子様の受賞がありましたらお知らせください。）

保護者の皆様へ

①廣田産業株式会社様より、創業 100 周年記念として「ドッジビー」と「ポッチャ」の用具をいただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございます。

②先週、文書とオクレンジャーで、「連絡フォーム Ver. 4」についてお願いしました。学校は朝は7：30頃までは「留守番電話対応」となっていますので、欠席・遅刻の連絡は「オクレンジャー」をお使いいただくことを重ねてお願いします。

③12月7日より「冬の個別懇談会」でお世話になります。

保護者の皆様の希望をもとに作成した日程表を、各学級より先週配布いたしました。

ご確認いただき、短時間ではありますがご来校いただきますようお願いいたします。

またこの間、子どもは下校が早くなります。放課後の安全な過ごし方についておうちでも約束をお願いします。



11月21日(月) 名人講座(3~6年生)の様子から



押し花アート



絵手紙



将棋



凧



今年も、地域の皆様に講師をお願いし、「名人講座」を開催することができました。「竹とんぼ」「わりばしでっぼう」「手芸」「くつした工芸」「箏」「フラワーアレンジメント」「粘土・焼き物」「将棋」「凧」「絵手紙」「押し花アート」「水・空気でっぼう」の12の講座に分かれて、制作や体験を楽しみました。名人の皆様、ありがとうございました。



手芸



くつした工芸



竹とんぼ



箏



フラワーアレンジメント



わいぼしでっぼう



焼き物



水・空気でっぼう

名人の皆様には、新型コロナウイルス感染症の心配もある中で、子どもたちに夢をもってもらいたいと、今年も学校に協力していただきました。

子どもたちは何日も前から楽しみにしていて、できあがった作品を互いに自慢し合ったり、早速使ってあそびを楽しんだりしていました。フラワーアレンジメントを家の人にプレゼントしようと大切に持ち帰る姿、翌日も自分の焼き物作品が無事かを確かめる姿、微笑ましい様子がたくさんみられました。